

令和元年涌谷町議会定例会 8 月会議（第 1 日）

令和元年 8 月 2 9 日（木曜日）

議 事 日 程 （第 1 号）

1. 開 会
1. 開 議
1. 議事日程の報告
1. 会議録署名議員の指名
1. 会議日程の決定
1. 議案第 5 6 号 工事請負契約の締結について
1. 休会について
1. 散 会

午前10時開会

出席議員（12名）

1番	竹中弘光君	2番	佐々木敏雄君
3番	佐々木みさ子君	4番	稲葉定君
5番	大友啓一君	6番	只野順君
7番	後藤洋一君	8番	伊藤雅一君
9番	久勉君	10番	杉浦謙一君
12番	鈴木英雅君	13番	大泉治君

欠席議員（なし）

説明のため出席した者の職氏名

町長	遠藤積雄君	総務課長 兼参事	渡辺信明君
企画財政課長 兼参事	高橋貢君	建設課長 兼参事	佐々木竹彦君
教育委員会教育長	佐々木一彦君	教育総務課長 兼給食センター所長	熱海潤君

事務局職員出席者

事務局長	高橋由香子	総務班長	金山みどり
主事	高橋和生	主事	日野裕哉

◎開会の宣告

(午前10時)

○議長(大泉 治君) 皆さん、おはようございます。

ご多忙の中、会議に出席いただきまして本当にありがとうございます。また、九州北部においては大雨による大変な災害が発生しているということに対しまして、お見舞いを申し上げると同時に、私どものほうでも今後の天気等々について万全の注意を払っていききたいものだというふうに考えております。本日の議事運営につきましても、いつもと変わらない格別のご協力を承りますようよろしくお願い申し上げます。

本日8月29日は休会の日でございますが、議事の都合により令和元年涌谷町議会定例会を再開し、8月会議を開会いたします。



◎開議の宣告

○議長(大泉 治君) 直ちに会議を開きます。



◎議事日程の報告

○議長(大泉 治君) 日程をお知らせいたします。

日程は、お手元に配った日程表のとおりでございます。



◎会議録署名議員の指名

○議長(大泉 治君) 日程に入ります。

日程第1、会議録署名議員の指名は、会議規則第118条の規定により議長において、8番伊藤雅一君、9番久勉君を指名いたします。



◎会議日程の決定

○議長(大泉 治君) 日程第2、会議日程の決定を議題といたします。

お諮りします。8月会議の日程につきましては、本日1日としたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（大泉 治君） 異議なしと認めます。よって、8月会議は、本日1日と決しました。



◎議案第56号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（大泉 治君） 日程第3、議案第56号 工事請負契約の締結についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。町長。

○町長（遠藤 雅雄君） おはようございます。お忙しい中ご参集いただきまして、ありがとうございます。

それでは、提案理由を申し上げます。

議案第56号の提案の理由を申し上げます。

本案は、富士古河E&C株式会社北日本支店と契約額1億4,630万円で令和元年8月28日に仮契約を締結したところでございますが、その工事請負契約について議決を受けようとするものでございます。

詳細につきましては担当課長から説明いたさせますので、よろしくお願い申し上げます。

○企画財政課参事兼課長（高橋 貢君） 皆様、おはようございます。

それでは、議案書の1ページをお開きください。

議案書の朗読を省略し、説明させていただきます。

議案第56号 工事請負契約の締結について。

1. 契約の目的、平成30年度涌谷町立小中学校空調設備設置工事。
2. 契約金額、1億4,630万円。
3. 契約の相手方、宮城県仙台市青葉区一番町二丁目7番17号、富士古河E&C株式会社北日本支店、支店長木村 弥。

本件の契約の経過についてご説明いたします。

本件につきましては、令和元年7月16日に指名委員会を開催し、一般競争入札での執行を決定し、7月25日、条件付一般競争入札を行う旨の公告をいたしております。

条件につきましては、宮城県内に本社、本店または支社、支店を有し、建設業法第27条の23第1項に規定する経営事項審査結果の管及び電気工事の総合評点が850点以上であることで、対象は47社、うち町内は1社でございます。

図面等の閲覧につきましては、企画財政課執務室及びホームページ上で公表し、8月5日までに質問を受付し、2者から16問の質問を受け付け、8月5日から回答の公表を企画財政課執務室及びホームページ上で行っております。

8月22日に入札書の締め切りをし、8月23日に開札をいたしました。

応札は4社ございましたが、開札の結果、最低入札順位決定に際しまして、2社が同額で応札したため、改めて同額の2社に対し、8月27日に地方自治法施行令167条の9の規定によりくじ引きをもって最低入札順位者の決定を行う旨の通知をいたしました。

8月27日に、該当2社により本抽選に先立つくじ引きを引くための予備抽選を行った後、本抽選のくじ引きを行い、最低入札順位者を決定したところであります。

8月27日同日に入札参加資格等の確認ができましたので、28日に落札決定をし、同じく28日に仮契約を締結したものでございます。

工期につきましては、議会の議決を受けた日の翌日から令和2年3月27日までとなるものでございます。

なお、入札に当たりまして、執行率につきましては、予定価格に対しまして82.7%となっております。

以上で私からの説明は終わらせていただきます。

○議長（大泉 治君） 建設課長。

○建設課参事兼課長（佐々木竹彦君） それでは、定例会8月資料のほうをお開きください。

工事内容につきましてご説明申し上げます。

A3判縦横ちょっと見づらいかもかもしれませんが、涌谷第一小学校、それから月将館小学校、それから箕岳白山小学校、涌谷中学校の配置図となっております。

それで、赤で囲った普通教室等に、今回2ページにあります右隅にございます台数、第一小学校は20台、月将館小学校11台、箕岳白山小学校11台、涌谷中学校21台、合計63台の空調機の設置でございます。

2ページの中央にございますとおり、イメージでございますが、天井つり下げ型の空調機、それから室外機、スイッチ等、リモコン等の設置でございます。

これに伴いまして、仮設の足場、それから電気工事の容量の変更のためのキュービクルの変更、それからそれに伴います設備等の工事を予定しております。

以上でございます。

○議長（大泉 治君） これより質疑に入ります。9番。

○9番（久 勉君） 一般競争入札ということでやられたんですけども、その手続については別に問題はないと思うんですけども、ただ、町長、考え方なんですけれどもね、建設と電気で850点、これはちょっとわからないんですが、建設が850、電気850なのか、それとも両方で850ということなのか、そこのところ1つと、それから考え方というのは、結局1億4,600万円もの金が、例えば先ほど財政課長の説明では、町内では1社しかなかったと。私聞いた限りでは、何かこの条件を満たすのは大崎管内でも1社しかないとは聞いていたんですけども、それはちょっとわかりません。

ただ、事務は面倒でも、例えば小学校ごとに分けるとか、学校ごとにですね。一小、それから月将館、それから白山小学校、涌谷中学校と63台をここに分けて合計で63台なんですけれども、結局こういったのって、町の電気屋さんでもできるような工事でないのかなと思われるんですけども、それを全部その仙台のよその町に、涌谷町が疲弊していると、その財政再建だとか言っていますけれども、では町のお金が例えば一般会計、特別会計合わせた金額の幾ら町の中に落としているのかということもやはり考えてほしいと思うんですよ。こうやって、まあ分離発注すれば多分その職員の手間暇はかかりますし、経費ももしかしたら高くなるかもしれないけれども、それでも町の中にお金がおれば、それが従業員の給料あるいはその従業員が町の中でお金を使うということになれば、町の経済の一翼を担うことになるんですけども、そういったことまで考えられなかったのかというのはちょっと残念なことなんですけれども、その辺いかがでしょう。

○議長（大泉 治君） 町長。

○町長（遠藤稔雄君） ただいまの850点については担当課から答弁させますけれども、町内業者を参入させなかったのかということでございました。私もこの点につきましてはさまざまな声を聞いておりますので、何とか町内業者の方、これに限らず全てにおいてやはり町内の方々に頑張ってもらって、それを経験に基づいてさらに大きな会社になっていただきたいという気持ちは持っておりますので、そのことを担当課とも話をしました。しかしながら、私の当然町長としての勉強不足もあろうかとは思いますが、さまざま制度的なこととか、やはり設置時期ということとか、そういうこともございますので、今回はこのような形になったという結果でございます。

私も、さらにこれ以外のさまざまな工事等々についても、やはり財政再建の観点からも町内の業者様に仕事をとっていただいて、その仕事によってさらに経験を積まれてステップアップした業者になっていただきたいという気持ちは持っておりますので、その点につきましては今回はその考えが、私の考えが至りませんでしたけれども、今後はそのような形でさらに9番議員と同じような考えを共有しながら進めていきたいと思っております。

○議長（大泉 治君） 企画財政課長。

○企画財政課参事兼課長（高橋 貢君） ただいま9番議員から質問のありました総合評点の捉え方でございますが、管工事850点と電気工事850点をそれぞれ持つということで資格のほうを設定しております。

○議長（大泉 治君） 9番。

○9番（久 勉君） 管工事ってよくわからないんですけども、その設備工事と理解していいんですか。設備。

（「電気は電気」の声あり）いや、だから電気と、それから管工事というのは、管ってどういう工事のことをいうんだか、ちょっとイメージできないんですけども、その両方850点以上じゃないとだめという条件ですね。以前はその条件、条件を付して、あとその現説のときに、他町村の業者がとって、とったときにはできれば下請にその町内の業者を使ってほしいという現説でそういうことはあったけれども、このごろはそういったものないと聞いたんですけども、その辺はどうなんでしょうか。

○議長（大泉 治君） 建設課長。

○建設課参事兼課長（佐々木竹彦君） 今回、一般競争入札でございましたので、それまでの条件は付してありませんでした。それと、契約後には打ち合わせの段階で、できるだけ折り合いがつけば町内業者さんをとってお話しております。

○議長（大泉 治君） その前に管工事の管はどの字を使うの。

○建設課参事兼課長（佐々木竹彦君） 配管の竹かんむりの管でございます。（「その管ね」の声あり）はい。それで、水道とか機械設備関係の工事でございます。

○議長（大泉 治君） 9番、よろしいですか。（「はい」の声あり）ほかに。7番。

○7番（後藤洋一君） 私もこの管と電気というか、この850点という意味の中身がよくわからないんですけども、当然その850点に達しないというようなことで、今回この仙台の方が入札したということなんですけれども、我々はその説明を聞いても判断しなくちゃならないんですけども、常にやはり町民の目線でいろいろな事業なりいろいろな形で取り組んでいる中で、先ほど9番議員が言いましたように、やはりこういういろいろな諸情勢の問題で大変厳しい中になっている中で、きちっとした最終的には点数だけでこの地方自治法の第何条かの中で

判断するというのは当然わかりますけれども、地元の業者の方も一生懸命そういった形で取り組んでいる中で、今回その差というのは何点くらいの管と電気の中で評価で、その入札にはとれなかったその地元の業者が何点くらいだったということはここでお聞かせできることはできないんですか。

○議長（大泉 治君） 企画財政課長。

○企画財政課参事兼課長（高橋 貢君） 建設工事を請け負おうとする業者につきましては、先ほど申し上げましたように建設業法第27条の23第1項ということで、経営事項審査というものを提出します。それで、各会社はその評価点をもらうという形になります。それを参考にして涌谷町は使わせていただいているというものでございます。それは全部の工事請負をしようとする会社が受けておりますので、同一の基準で行われているものでございまして、それで今回の金額に応じて他の工事とか、他団体が行う工事あるいは国が行う工事と同じ評価点を用いて使わせていただいたというものでございます。

今お話があった町内の業者が各何点ずつあるのかというお話でよろしいのでしょうか。（「何点満たなかったのか」の声あり）ちょっと評価点、何百社とか登録されている台帳がございますので、そちらを見ないといけないという形にはなるんですが、先ほど言いました、私のほうで評価するものではございませんで、経営事項審査ということで、その基準で決められた点数であるということだけご理解いただければと思います。

○議長（大泉 治君） 7番。

○7番（後藤洋一君） 要するに、その総合評価する委員会というのがあるんですね。その方たちがその850点というのを最終的に今回入札で入札になった業者がその点数を上回ったということなんですけれども、ではその上回らなかったその町のある程度もう少しこういったところ、このように改善するとか、こういうところに対してこうというようなのがどうだったのかなという、具体的にその辺お聞かせいただいたらなと。

○議長（大泉 治君） 企画財政課長。

○企画財政課参事兼課長（高橋 貢君） 当町でその850点とか評点をつけるわけではございません。先ほど言いました経営事項審査ということで、ちょっと正式な名称忘れましたが、ある機関がございまして、そこで点数をつけてくると。だから、そこで審査を受けた各会社が自分の持ち点という形で評価点ということで評価されますので、それをもっているいろいろなところの団体として自分の持ち点として参加されるという形になりますので、決して涌谷町がその各業者を評定するわけではございません。

○議長（大泉 治君） 企画財政課長、金額に応じて評価点を設定しているという先ほど説明あったんだけど、その辺の内容について、最低落札価格金額でどれだけの点数が必要だったかということをしつかりと説明して、涌谷町が850点にした理由をしつかり述べていただきたいと思います。企画財政課長。

○企画財政課参事兼課長（高橋 貢君） ただいまありました工事高で入札執行依頼が出ております。今回については、特Aランクということで点数以上ということで850点以上の業者を選ぶということで取り決めが事前にされておりますので、それに基準に基づいて行ったというものでございます。

ちなみに、今回の額、工事については4社以上の業者を選ぶということで、特Aのランクということで選ばせていただいたものでございます。

○議長（大泉 治君） 7番、いいですか。

○7番（後藤洋一君） いや、私が質問したかったのは、常に町長がやはり地域の発展なり、住民のいろいろな幸

福度を向上させるために、できるだけその資源を使って町内の業者に云々ということで、いろいろな意味で町の発展につながるというようなことだったので、その850点に満たなかったのも、特にその業者の方はどこに留意してどうすればもっともその850点につながるそういう総合評価の中でやっていけるよというようなことが、ある程度決めるのは別として、その辺もっと努力することによって、町のそういったいろいろな建設工事にはかかわることができるというような業者をもうちょっとやはり広く募っていただくというような点で、ちょっと質問したということでございますので。後でまた聞きますから、結構です。

○議長（大泉 治君） 町長。

○町長（遠藤 稔君） 先ほど申し上げましたが、私もやはり後藤議員あるいは久議員と全く同じ思いでございます。例えば、幼稚園の空調につきましては、町内の業者さんが施工されております。そういった面で、私も決裁をするときに、やはり少し安心して決裁をするというのが実情でございますので、先ほどどんな工夫をしてどんなことをすればいいのか、この点で私、前々から不案内でございますけれども、そういう工夫ができるのであれば、やはり研究を重ねてそのような方向にしたいという気持ちはしっかりしておりますので、そういったような方向で私は町政運営を進めさせていただきたいと思っておりますので、今後ともこういったような観点でのご指導はよろしくをお願いします。

○議長（大泉 治君） もう1点、分離発注をして町内業者に発注するようなことはできなかったのかという質問、9番からの質問に答えておりませんので……。

建設課長。

○建設課参事兼課長（佐々木 竹彦君） 議員が申せられましたとおり、事務量としてはふえることもございますし、また、業者ごとに機種の変更などがございまして、統一的な管理ができないこともございまして、教育委員会などを含めまして一括発注で経費がかからないように発注するという形になりました。

○議長（大泉 治君） 企画財政課長。

○企画財政課参事兼課長（高橋 貢君） 先ほどの7番議員のご質問に追加でご説明申し上げたいと思います。

先ほど申した経営事項審査のほうに評点の捉え方なんですけど、工事高、あるいは従業員数、そういった実績を踏まえて点数がつけられております。そういった評価点を共通の評点として工事に入札するという形で、先ほど言いました当町の運営基準におきましては、Aランク以上の評点ということで点数をつけて、業者を一般競争入札で今回対応させていただいたということでございます。

○議長（大泉 治君） ほかにございせんか。1番。

○1番（竹中 弘光君） 今の付随するんですけども、その発注の仕方というか、今9番議員なり7番議員というのはやはり今、最初に戻りますけれども、町内業者というか、その部分の中でお金を落とす場合という部分で本当に考えているんだと思うんですよ。その中におきまして、今一応言っておきたいのは、涌谷町のその入札の仕方というのが、要は宮城県内に本店、支店のあるというような形の中で出していますし、また、それを公募というか、知らしめるときに、ホームページというか、インターネットを通じて出しているという部分で、何を言いたいかという、入札までどこの会社がそこに応札に来るのかという部分がわからない部分というのがそういうんじゃないかという話があったわけなんです。そうしますと、一応町内業者というか、今言ったように公明正大に入札するというのは大前提にあるんですけども、やはり万が一、今冒頭、九州のほうでの豪雨災害とか

ありましたけれども、要はそういった災害のときに、町内業者というか、その部分での災害に対する協力体勢とか、そういったものも組んでいるという話の中で、要は万が一そういう、あくまでも総合評価の中に点数がありますから、でたらめな会社はもちろん来ないというのはわかりますけれども、ただし、だからといって全然遠いところ、万が一になったときにすぐに対応できないところを重視して、そういう価格だけの面でやるというのも、今後について見直しというか、要は入札時点の中で、さまざま聞いたんですけども……。

○議長（大泉 治君） 1番、ちょっと議案から離れて、質問内容がね。

○1番（竹中弘光君） 失礼しました。そういう部分の中で、ごめんなさい。町内業者を算定する方法がなかったのかという、もう一度そういう災害のときの対応のためにできなかったのかということ。

○議長（大泉 治君） 企画財政課長。

○企画財政課参事兼課長（高橋 貢君） 施工されました業者におきましては、入札、応札に際して、これまでの実績とかを踏まえて対応をさせていただいております。それも確認をさせていただいているところでございます。また、経営事項審査の中には、当然施工実績のほかにも、その災害とか、そういったものの評価点も加味されているというところがございます、当然その施工された会社でありましたら、そういった分を今後の涌谷町における管理についてもお願いするものと思っております。

○議長（大泉 治君） 1番。

○1番（竹中弘光君） 特に議題外って今後のことということで言ってしまったところはあるんですけども、全部そういう部分も考えて、やはり今も言ったとおり経費だけを考えてしまうと、全体的にこういった形の入札をとらざるを得ないと思うんですけども、9番議員からありましたように、やはり今後そういう部分も考えながら入札というか、そういう部分に行っていただければというような思いが強いものですので質問しました。

○議長（大泉 治君） 今後の入札ということについて。企画財政課長。

○企画財政課参事兼課長（高橋 貢君） 国のほうの方針では、入札におきましては競争入札を原則とするという中でございますが、先ほど言いましたその工事高、あるいはそういった工事の内容によりまして、いろいろな指名基準を再度確認をさせていただきながら入札に応じていきたいと思っております。

○議長（大泉 治君） ほかに。5番。

○5番（大友啓一君） ちょっと確認しておきますけれども、3月、令和2年の3月27日までということですけども、これは工事をやる場合は学校の学習面に支障のない工事できるんですか、これは。1カ所だったら夏休み中にやるとか、そういう考えもあろうかと思えますけれども、そういった支障を出さないで3月27日まできちんとできるんですかね。そういう心配もあると思えますけれども、そこら辺ちょっと聞かせてください。

○議長（大泉 治君） 建設課長。

○建設課参事兼課長（佐々木竹彦君） 実際の工事の作業内容については、やはり学校さんの授業等に影響が出ないような形で工事を進めなければならないと思いますので、十分な打ち合わせをして、入札された方は3月までの完了を見越して入札しておりますので、そこを確約して進めたいと思います。

○議長（大泉 治君） ほかに。4番。

○4番（稲葉 定君） 先ほどの管工事のことについてちょっと伺いましたけれども、管工事に伴う穿孔、穿孔の工事なんかあるんですけども、これまで何回も学校の工事でアスベスト出ているわけですね。穿孔によってアス

ベストは出たりしたという、そういった調査とかはしているのかな。それをちょっと聞いておきたいと思います。

○議長（大泉 治君） 建設課長。

○建設課参事兼課長（佐々木竹彦君） ちょっとアスベストの建物自体に関しては、全部はやっておりませんが、箇所ごとに事前に施工業者に調査させたいと思います。

○議長（大泉 治君） 4番。

○4番（稲葉 定君） 穿孔する場所でアスベストが出ないのであって調査しているのであれば、これは問題ないんですけども、管工事というのは管を延ばして行って、それを固定したりするところって、いろいろ小さな穴から固定金具ついたりとか、あと従前あった管と接触する場所とかなったら、籠岳白山小学校のときも前の管に吹きつけてアスベストがついていた。そこを接触する場合は、やはりこれは削らなきゃいけない。そうすると、やはりアスベストが発生する。その辺十分注意してやっていただかないと、1億4,630万円とこの金額でまたおさまらなくなってしまう。そういった心配があるので、十分注意してやっていただかないと困るんじゃないかなと思います。

それで、普通の管工事、真っすぐでなくてこの場合は例えば冷媒を通す管だとか、電線を通す管だとかは、迂回させれば済むので、その点は心配はちょっと少ないのかなと思うんですけども、その点一応お尋ねしておきます。

○議長（大泉 治君） 建設課長。

○建設課参事兼課長（佐々木竹彦君） 工事業者のほうと十分に現場を確認しながら施工したいと思います。

○議長（大泉 治君） ほかに。3番。

○3番（佐々木みさ子君） 今回設置台数が63台というふうに記載されていますけれども、今後この必要に応じて追加するというか、そういう考えというのはあるのでしょうか。

○議長（大泉 治君） 教育総務課長。

○教育総務課長兼給食センター所長（熱海 潤君） 今回工事設置に当たっては、普通教室、普通教室の名前じゃないところもございしますが、これは昨年度普通教室だったところです。なので、今後普通教室となり得る場所、普通教室と校長室、職員室に設置となっております。今後ということですが、今後については今のところ考えておりません。今年度、建物の長寿命化計画というのを立てておりますけれども、その動向にもよるのかもしれませんが、今後ともその校舎を何年使っていかかというものを見据えて、それについては、それからあと授業の組み方ですか、夏季期間中というか、暑い時間にそういった特別教室の利用が避けられるのであれば必要ないという判断であれば今後もつけませんし、その辺についてはその長寿命化計画の策定であったり、授業の持ち方等ということも気にしながら必要なかどうか、その辺は検討していきたいと思います。

○議長（大泉 治君） ほかに。8番。

○8番（伊藤雅一君） 空調設備設置工事ということですが、どんな工事内容を予定されておったものか、お聞きしておきたいと思います。

○議長（大泉 治君） 教育総務課長。

○教育総務課長兼給食センター所長（熱海 潤君） 今回の工事は、昨年度猛暑ということで子供たちが熱中症等にかからないようにということで、安倍首相が全国の小・中学校に空調設備を設置するということからスタート

しております。当町においても、昨年度のみの文部科学省の補助金を利用して設置するという決定をいたし、3月議会でお認めいただいたものを繰り越しさせていただきまして、今回設置に至ったものでございます。

○議長（大泉 治君） 8番。

○8番（伊藤雅一君） 先ほどからお話が出ておりますが、近くに該当する業者がおらなかったということですが、それだけ工事内容との関係があったものかということで私確認といえますか、お聞きしておきたいと思って今質問したんですが、それほどやはり専門的な工事が伴うものなのかどうか、なおさらお聞きしたいと思います。

○議長（大泉 治君） 建設課長。

○建設課参事兼課長（佐々木竹彦君） 先ほど経営事項審査の評点850点というのは、請負金額に応じてとれる業者さんが決まっております、それが今までの工事実績を踏まえて、町内業者さんができないということではないんですね。あくまでも審査の上で契約金額によって契約できるということになっています。

○議長（大泉 治君） 8番。

○8番（伊藤雅一君） 何か説明がよく理解できないのですが、できないということで難儀しているから結果的にはこういう結果を生んでおるのか、その辺も含めて答弁をしてください。

○議長（大泉 治君） 同じ回答でもよろしいです。企画財政課長。

○企画財政課参事兼課長（高橋 貢君） 業者の選定に当たりましては、内規であります運用基準に基づきまして、工事高に応じて業者を、入札に付する業者の選定を行っております。今回の工事高におきましては、先ほどありました経営事項審査結果の総合評点、これを850点以上の業者として今回業者の選定ということで競争入札に付するということで、これに該当する業者の入札を今回対応させていただいたということで、これが先ほど言いました、結果的には町内業者については1社のみということになっていたということでございます。

○議長（大泉 治君） 3回で終わりです。ほかに。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（大泉 治君） これにて質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（大泉 治君） これにて討論を終結いたします。

これより議案第56号 工事請負契約の締結についてを採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（大泉 治君） 起立多数であります。

よって、議案第56号 工事請負契約の締結については原案のとおり可決されました。



◎休会について

○議長（大泉 治君） 以上をもって、涌谷町議会定例会8月会議に付された事件は全て議了いたしました。

お諮りいたします。

本会議は、この後、あす8月30日から12月27日までの121日間を休会としたいと思います。これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（大泉 治君） 異議なしと認めます。

よって、あす8月30日から12月27日までの121日間を休会とすることに決しました。



◎散会の宣告

本日はこれをもって散会いたします。

ご苦労さまでございました。

散会 午前10時43分